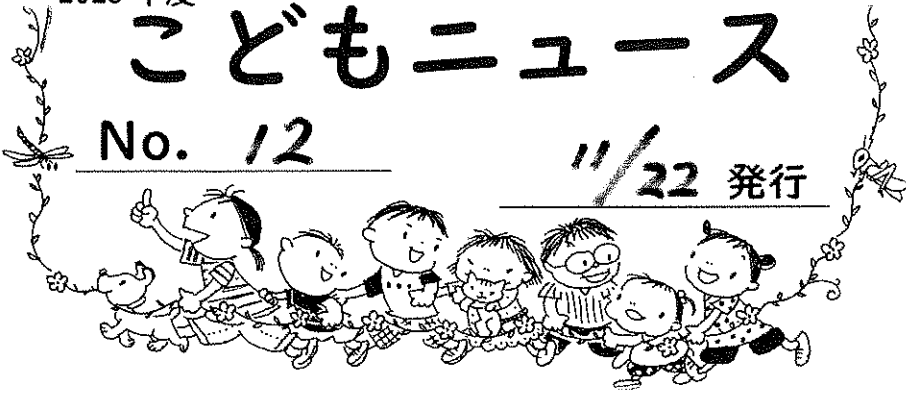


2023 年度

こどもニュース

No. 12

11/22 発行

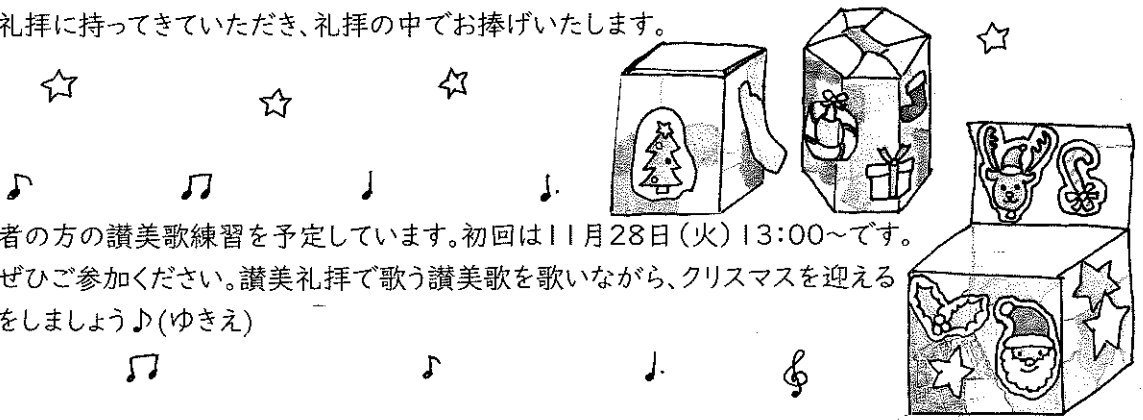


幼稚園では11月22日の合同礼拝からアドベント(待降節)に入り、アドベントクランツの本目のろうそくに火が灯りました。これから毎週1本ずつ増えていき、讚美礼拝の日に4本目のろうそくに火が灯ります。子どもたちは、クラスやあつまりの中で聖書のお話を聞いて本当のクリスマスについて知り、クリスマスを迎えるための準備を少しずつ始めています。

先日、クラスで献金箱を作りました。“神さまありがとう”って献金を捧げるよね、それってどんな時かな?と子どもたちと考えました。「お友達と遊んだ時」「ゲームして楽しい時」「ごはんがおいしい時」「おいのりする時」という答えが返ってきました。もうすぐ、私たちのことがだいすきな神さまが、イエスさまをくださったクリスマス。神さまから与えられた恵みに“ありがとう”の気持ちを献金に託して、大切に貯めていく献金箱を作ろうねと話しました。

献金箱は、おうちから「これにしよう」と選んできた空き箱に折り紙をちぎって貼り、クリスマスのぬりえで飾りました。折り紙をちぎって貼るところでは、折り紙をビリっとちぎる感覚を楽しむ姿や、集中して隙間なく貼っていく姿がありました。しばらく貼って「だんだん(箱が)見えなくなってきたよ～」と教えてくれました。中には、「箱の模様を残したいから、ここだけ貼る」、「(長くちぎった折り紙を)これはゾウの鼻なんだよ、だから端だけ貼りたいの」とこだわって貼った子もいます。クリスマスのぬりえも自分で選び、思い思いに飾りました。時間をかけて丁寧に塗った子や、ぬりえを箱の内側までたくさん飾った子もいます。

子どもたちが作った献金箱に、ご家庭でも日々の“ありがとう”“うれしいな”という気持ちを子どもたちと一緒に見つけて、献金を入れていっていただけたらと思います。クリスマス献金は親子礼拝に持ってきていただき、礼拝の中でお捧げいたします。



保護者の方の讚美歌練習を予定しています。初回は11月28日(火)13:00~です。皆様ぜひご参加ください。讚美礼拝で歌う讚美歌を歌いながら、クリスマスを迎える準備をしましょう♪(ゆきえ)





クリスマスにまつわる言葉

幼稚園では、22日(水)の礼拝からアドベントに入り、クリスマスを待ち望み準備する季節となりました。イエス様がこの世に生まれてくださった意味を『クリスマスにまつわる言葉』からも考えてみませんか？最近ではクリスマスに関する様々な言葉を聞くようになりました。聞き覚えのあるものも多々あるのではないのでしょうか…

アドベントカレンダー

アドベントの期間、一つずつカレンダーをめくるようにし、イエス様を心に迎える準備をするものです。市販されているものは、12月1日から1日ひとつ、日にちの部分を開けていくものが多いようです。

幼稚園では、一人ひとつずつ作った飾りを毎日飾り付けていきます。そして全員が飾り終える日が讃美礼拝の日となるようにしています。

「今日は誰が飾るのかな？」「私はいつ飾るのかな…」とワクワクした気持ちで「待つ」ことこそ、遠い昔ユダヤの人々が、救い主の到来を待ったのと同じような思いにつながるのではないのでしょうか。



アドベントクランツ

クランツとは花、または葉の環状の編み物・花輪・葉環の意味です。常緑樹の枝で環(輪)を作り、ろうそくを立てたものがアドベントクランツです。

常緑樹の緑の環は「神様の永遠」を、ろうそくはキリストが「世の光」として来られる喜びを意味しています。常緑樹にはモミの木、ヒイラギ、カイヅカイブキ、スギなどが使われます。

ハレルヤ

ハレルヤとは、ヘブライ語で「主をほめたたえよ」という意味です。ヘンデルのメサイアに出てくる「ハレルヤコーラス」は、どこかで聞かれたことがあるのでは？

幼稚園では、讃美礼拝での一つひとつの事柄を子ども達に伝えていく時間を「ハレルヤ」と呼んでいます。それは「本当のクリスマスを知る時間」「自分に与えられたクリスマス役割について知る時間」そして「クリスマスの喜びをありがとうと讃美する時間」と考えています。

ハレルヤが始まると「クリスマスブック」というイエス様誕生のお話書かれたオリジナルブックをもらいます。ご家庭でも一緒に読み、讃美歌を歌うなどして楽しみながらクリスマスまでの日々を過ごしてください。また幼稚園でも毎日使いますので、リュックの中に入れてきてください。



年少あつまり

保育参加、ありがとうございました!!

9月から4回に分けて、保育参加を行ってきました。当日あいにくの雨の日もあり、予備日への変更もご対応いただき、ありがとうございました。1回目は並んで歩くことを目標に!からはじまり、2回目、3回目で少しずつ歩く距離を長くしていきました。4回目では、葉草園で思い切り遊びました♪ 今回のこどもニュースでは、ご記入いただいたアンケートと共に、保育参加を振り返っていこうと思います。(・:おうちの方より ★:園より)

【年少さんのお散歩って…】

- ・年少さんをお散歩へ連れていって、こんなに大変なのか!と驚きでした。歩く時、手は離してしまうし、列は乱れるし、何かに気を取られて止まったり、声が届かなかったり……。自分の子だけを連れて散歩するのはわけが違いますね。
- ・まだまだ並ぶのも列に沿って歩くのも大変で、3,4歳ってこんな感じなんだと気付かされました。比較的身体の大きい娘に対し、家の中ではあれこれ年齢以上のことを求めすぎているのではないかと反省。
- ・保育参加でお散歩をしてみるとは聞いていたけど、実際に参加すると、想像以上に子どもの行動がよめずにびっくりさせられることが多かったです。まず、列を組んで、目的地に向かうというのが、年少さんだとこんなに注意して見守っていかなくてはいけないのかと思いました。
- ・一生懸命に先生のお話を聞いたり、お返事している姿にほっこりさせてもらいました。まだまだ年少さんなので、バラバラになってしまっても仕方ないのに、手を繋いで歩いたり、順番を守ったりしている姿が見れて楽しかったと思います。
- ・年少さんだけの散歩、可愛いですがなかなか自由でしたね。年中さんや年長さんの偉大さがわかりました。

★いつもはお兄さん、お姉さんたちに手を繋いで歩いてもらっていましたが、年少さんだけでの散歩は、今回が初めてでした!まずは、《お友達と手を繋いで、列になって歩く》ということが大きな目標でした。回数を重ねるごとに、並んで歩くことが上手になった年少さん。歩く経験を積み重ねていくことで、少しずつ歩く事に慣れ、お散歩を楽しめるようになっていけると嬉しいなあと思います♪

【いろいろな発見が……】

- ・どんぐり拾いも楽しそうで、緑や茶色、丸いものや細長いもの、帽子をかぶっているものなど同じどんぐりでも様々な色や形があることに子どもたちも気がついていて良いなあと思いました。

- ・散歩の道中、どんぐりや木の枝、虫、芋かけら、大人には発見できないものがいっぱいあっておもしろかったです!
- ・お友達と話しながら歩く組もあれば、手を繋いでいても一人ひとり違うことをしていたり、泣いていても好きな事の話になると沢山話し始めたり…おもしろい会話があっちこっちで始まっていて聞いていてもくすつと笑ってしまうことが多かったです。
- ・“おにごっこやろうよー” “かくれんぼがいいよー” “じゃあ さきにかくれんぼでいいよ”と友達同士で遊びを決め、遊ぶ姿にも驚きました。普段からのびのびかつどうさせてもらっているからこそ、お互いのやりたいことを受容できることが多くなっていくのかなと感じました。

★子どもたちの目線になってみると、様々な発見がありますよね! 子どもは見つける天才です! おうちの方たちも、一緒に歩きながら、遊びながら、子どもの世界に入って頂くことができたのではないかなと思います。

【参加してみても…】

- ・参加する中で「我が子だけじゃなくて他の子もそうなんだ〜!」と安心することがいろいろありました。自分の話ばかりして友達の話聞いているのかな? 強い口調で怒ったり、すぐスネたり…意外とみんなそんな感じてほっとしました(笑) まだまだ年少さん、これからが楽しみです。
- ・年少さんたちとたくさんおしゃべりでき、登園/降園だけでは分からない、ああこの子はおしゃべりが好きな子なんだ、とか しっかりひっぱっていくタイプなんだ、とか感心したり……お母さん方と会話する手掛かりになる楽しい時間でした。
- ・“参観” だけではわからないことが、“参加” することでわかる、とても良い機会でした!
- ・「参加型」で活動の様子が見られたこと、とても良かったです。大きなイベントより、この規模がありがたく感じました。
- ・我が子の普段のお友達のやり取りが見れ、とてもいい機会をいただきました。皆で手を繋ぎ歌う姿から、クラスの中の良さも伝わってきました。我が子だけでなく、他のお友達と手を繋ぎ、お話しできた時間もとても貴重な時間だったかと思います。
- ・先生たちが我が子の感情に寄り添っていただいている姿を見ることができ、日ごろから我が子が活動を「楽しい」と言っているのに納得しました。

★保育参加を通して、普段とは違う子ども達の姿を見たり、保護者の方と関わる機会となったこと嬉しく思います。今回の保育参加をきっかけに、ぜひお子さんと歩く事、歩きながら発見したり、会話をしたりすることを、ぜひご家庭でも楽しんでみてください♪

お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました!!

<ゆかあゆみ>

